

令和7年度 第4回公立鳥取環境大学:教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和8年3月6日(金) 10:00～11:42
- 場 所 本部講義棟3階 大会議室(対面会議)
- 出席者 小林朋道委員、坂口裕樹委員、宇佐美誠委員、植田紀子委員、
中山実郎委員、根本昌彦委員、張漢賢委員、吉田高文委員
[8名/11名]
- 欠席者 足羽英樹委員、河井登志夫委員、今井正和委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 令和8年度当初予算について

事務局から令和8年度当初予算について説明があり、案のとおり承認された。

〈主な意見等〉

- ・ p11の資格取得支援について、大学として支援をして取得した資格が、具体的に就職でどれくらい有効なのか。就職先の把握と組み合わせた資格関係の情報収集はしているのか。
- 具体的に数字を追ってはいないが、企業の採用の方との懇談会や説明会のやりとりの中で出てきている。例えば、日商簿記2級やFP2級は、業界問わず意欲の高い学生ということで、特に金融業界では書類選考では落とされないなど。このようなことは、検定・資格の案内の機会に学生へ奨励している。
- ・ 大学の脱炭素化について、一番大きな取組はどのようなものか。
- 建物の屋上への太陽光パネルの設置、学生センターのZEB化改修。既に終わっているが学内LED化など。バイオマス発電は採算面から大学に設置することが難しく進まなかったが、鳥取市と連携し、佐治町から持ち込んだ木材を本学でバイオマスに変換して運用する計画があった。これについては、若葉台地区で設置場所を検討しているが、米子のバイオマス発電所撤退の影響もあり難しい状況。

(2) 公立鳥取環境大学学則の一部改正について

事務局から公立鳥取環境大学学則の一部改正について説明があり、案のとおり承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 授業時間を長くすることのメリット・デメリットは何か。全国的な流れについても教えてほしい。
- メリットは、学生が主体的に学び意見交換する、アクティブラーニングを進めるにあたって、10分とはいえやはり時間があつた方がやりやすい点。学年歴で見るとゆとりがでるが、この時間を学生への指導や話し合いの時間にあてていきたい。また、授業外で指導する時間を確保することもできる。デメリットは、アルバイトのシフトやバスの時刻など。アルバイトについては、経済的に困っている学生には配慮が必要だが、学生の本分を優先することが重要である。バスについては、遠方から通っている学生が少ないため影響はあまりない。他大学の状況として、早稲田大学は100分14回、東京大学は105分13回であった。
- ・ アクティブラーニング化とセットで授業時間を長くすることが大事。従来の一方向の授業だと90分でも長いと感じることはあると思う。自分は、授業時間を2つに分けて、講義を前半に、ディスカッションを後半にしている。与える情報が減ってしまうところが大きな課題となるが、予習の範囲を明示して、「それを見て、何を発言するか考えてくること」と最初のガイダンスで言

うようにしている。また、はじめに黒板やホワイトボードに書いてから講義を始めると、それを学生がノートやパソコンに写す時に予習になる。一方的に話すのが約30～40分で、残りのディスカッションが約40分。アンケートでは面白いといってくれる学生が多いが、時間が少ないと不満も毎年上がる。アクティブラーニング化を進める大きな方向性の基での授業時間の変更ということで、同時に先生にとっては負担になる。全学的なコンセンサスをつくっていくことが一層必要。

- 90分教員が一方的に話し続けるのは体力的な負担が生じる側面もある。その中で、何か学生にとっても教員にとっても身になるものを取り入れる。
 - ・ 受講生が100人いてもそういうことをやっていくのか。
- 議論してきた。工夫して実施していきたい。
 - ・ 大人数の授業では、アクティブラーニングをどうやっていくのか大きな課題。多数の留学生を含む40～50人ぐらいの学生が受講する大学院の授業必修科目の例を紹介する。留学生が多いと、一層よく話す。オンラインのシステムで、学生が手元のスマホからアクセスして、手元で打った内容がそのままオンラインでディスプレイに出る「スライド」というシステムがある。これは先着順で、質問がどんどん表示される。その内容を成績評価に組み込んでおり、インセンティブがある。人数が多いところでも工夫ができる。
- 大人数の科目もあるため、ぜひ参考にさせていただきたい。

(3) 公立鳥取環境大学履修規則の一部改正について

事務局から公立鳥取環境大学履修規則の一部改正について説明があり、案のとおり承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 3回休んだら不可か。
- 公認欠席と事由欠席がある。これは、授業内容を示して課題等を出してもらい、出欠の取扱いが教員が判断している。出席を厳密に成績に反映することが現在の学生にとって有効と判断した。
- ・ 3回までは単位認定可能。

3 協議事項

(1) 学部・学科再編構想について

根本副学長から学部・学科再編構想について説明があり、意見をいただいた。

〈主な意見等〉

- ・ これまでの2学部2学科体制はそれなりに意味があったものだと思うが、1学科のままでコースを増やすかたちにしなかったのは、何か理由があるか。
- カリキュラム変更にあたり「コース」という呼称の検討も行われたが、関係者との協議の結果、公立大学として今後の存続と発展を見据え、広報でより訴求力の高い「学科」単位での再編とする方向性が確認された。特に広報面においては、「コース」よりも「学科」の方が受験生等へのインパクトが強いと判断された。また、従来の「環境学部」という名称は内容が直感的に伝わりにくいという課題があり、分かりやすさの向上も重要な観点とされた。加えて、県および学生双方にとって意義のある構成とすることが重視された。さらに、志願状況やオープンキャンパスの参加動向から、生物系分野の人気の高いことが確認されており、鳥取県の地理的特性を強みとして活かす方針とした。以上を踏まえ、環境学部および経営学部の両学部について、より魅力の高い学部として強化していくことが基本的な狙いである。
- ・ 「保全生物学科」の名称は先に「保全」がきていることに何か狙いがあるのか。また、気候変動について今後も関心が高まっていくが、新しい学科をつくるにあたって、全体を示すその中に、気候変動を強調してはどうか。
- 「保全生物学」は従来からあった言葉。「環境保全」と違う点は、この中に一次産業と自然環境・豊かな生態系を両立させるということ。保全しながら一次産業を発展させていく独自の方向性を

示したい。そのために、生物に関するしっかりした研究が必要であるため、保全という意味が効いてくる。鳥取の自然を保全しながら一次産業ともうまく折り合いをつけ、鳥取活性化に結び付けることで保全自体が利益になる仕組み作りを目指している。それを総合して「保全生物」というのが分かりやすいと考えた。英語では、コンサベーションバイオロジーと言い、「保全生物」に合致する。

4 報告事項

(1) 公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について

事務局から公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について報告があった。

(2) 公立大学法人公立鳥取環境大学嘱託職員就業規則の一部改正及び公立大学法人公立鳥取環境大学嘱託職員給与規程の制定について

事務局から公立大学法人公立鳥取環境大学嘱託職員就業規則の一部改正及び公立大学法人公立鳥取環境大学嘱託職員給与規程の制定について報告があった。

(3) 公立大学法人公立鳥取環境大学非常勤講師就業規程の一部改正について

事務局から公立大学法人公立鳥取環境大学非常勤講師就業規程の一部改正について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・ P35 の授業時間について、2 限と 3 限の間が 50 分というのは従来からか。2 限と 3 限を両方履修する学生が比較的多い場合に、食堂の混雑状況は問題ないか。
- 食堂に一気に学生が来て、時間が足りないような状況ではない。

(4) 教員の採用及び昇任について

事務局から教員の採用及び昇任について報告があった。

(5) 令和 8 年度教学体制について

中山理事・副学長から令和 8 年度教学体制について報告があった。

(6) 近況報告

事務局から近況報告があった。

- ・ 入試状況について、隔年現象はあるか。
- 経営学部は令和 6 年～8 年で隔年現象的な流れがある。環境学部では見られない。
- ・ 後期日程になると入学先が決まっていない受験生が減るため、日程を前倒しにする方向にあるかどうか。
- 通常そういう傾向の中では、その通りになると思う。年によっては、後期で入学する学生が多い。いろんな要因がストレートに効いてこない難しいところがある。
- ・ 広報、宣伝について何が有効と判断されているか。
- 入学生アンケートでは、高校の先生から情報を得たという回答が多い。媒体だと、大学案内や様々な受験事業所の資料請求サービスなど。
- ・ 私のところはどの学部でも、TOP 1、2 は学校の先生か保護者。HP では、保護者向けを意識してつくる取り組みも進めつつある。また、長い紹介動画はまず見てもらえない。できる限り短いものということも意識している。
- 保護者の認識と現実の状態にずれがある。保護者に訴えかけるのは有効かと思う。本学も SNS をフルに使っている。多くはないが、学生同士の関係でクラブの先輩からという影響もある。その辺にも注意しながら、また色々教えていただきたい。

5 その他

6 閉 会